

2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月15日
東

上場会社名 株式会社テイツー 上場取引所
コード番号 7610 URL <https://www.tay2.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 克治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 青野 友弘 (TEL) 048-933-3070
四半期報告書提出予定日 2024年1月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	25,130	15.8	1,108	△11.7	1,204	△7.6	709	△15.0
2023年2月期第3四半期	21,705	14.5	1,255	46.4	1,302	46.9	834	35.1

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 711百万円(△14.5%) 2023年2月期第3四半期 832百万円(37.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	10.97	—
2023年2月期第3四半期	12.95	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第3四半期	13,578	5,976	44.0
2023年2月期	10,940	5,600	51.2

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 5,976百万円 2023年2月期 5,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2024年2月期	—	0.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年2月期の配当予想につきましては、2023年7月14日発表の「連結業績予想の上方修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,300	9.7	1,800	15.6	1,850	15.3	1,100	9.7	16.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年2月期の業績予想につきましては、2023年7月14日発表の「連結業績予想の上方修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期3Q	68,664,338株	2023年2月期	68,664,338株
② 期末自己株式数	2024年2月期3Q	5,282,606株	2023年2月期	4,075,897株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期3Q	64,657,786株	2023年2月期3Q	64,485,180株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株会支援信託ESOPが保有している当社株式(2023年2月期1,402,900株、2024年2月期3Q1,183,600株)を含めております。また、当該信託が保有している当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9
(重要な後発事象)	9
3. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が2類から5類へ移行したことなどに伴い、経済活動に緩やかな持ち直しの動きがみられました。しかしながら、不安定な国際情勢の中、原材料価格やエネルギー価格の高騰、物価の上昇など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社が属するリユース業界においては、SDGs推進の動きとそれに伴うリユースへの意識の向上、物価上昇の影響を受けてリユース品の需要が増加していることなどを背景に、堅調に市場全体が拡大しております。

このような経営環境における、当第3四半期連結累計期間の主要取扱商材の動向は、以下のとおりです。

新品ゲームは、昨年度の人気タイトルの新作発売による反動減の影響を受けつつも、本年度の新作ヒットタイトルの登場や家庭用ゲーム機「PlayStation 5」本体の供給改善により、売上高が増加しました。

中古ゲームは、新品ゲーム市場活況の影響や新規出店効果により、売上高が増加しました。新品・中古トレーディングカード(以下「トレカ」という。)は、近年のトレカ市場拡大の影響により、売上高の伸長が継続しております。これらの主要商材が牽引し、全体の売上高は前年同期を上回って好調に推移しております。

以上の結果により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高251億3千万円(前年同期比15.8%増)、営業利益11億8百万円(前年同期比11.7%減)、経常利益12億4百万円(前年同期比7.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億9百万円(前年同期比15.0%減)となりました。

(事業の概況)

当社グループは、グループ経営理念「満足を創る」に基づき、「リユースで地域と世界をつなぐ」をグループビジョンとして掲げ、様々な施策に着手しております。グループビジョン実現に向けて、2023年4月14日に公表した「2023年度テイツーグループ成長戦略」の方針に基づき、「リユースを拡大する、EC領域に注力する、経営基盤を強化する」の3点を経営方針とし、以下のような取り組みを実行しました。

①リユース店舗領域

新規出店につきましては、当第3四半期連結会計期間において「ふるいち」店舗を4店舗オープンいたしました(10月イオンモール幕張都心店、11月イオンモール新小松店・イオンモール上尾店・イオンモール広島府中店)。これにより、当期累計では10店舗の出店となりました。

また、関連会社の株式会社トップボックスを通じたフランチャイズ店舗(以下、「FC店舗」という。)につきましては、「ふるいちトップボックス」の屋号にて、当第3四半期連結会計期間において2店舗オープンいたしました(9月諏訪中洲店、11月上田大屋店)。これにより、当期累計ではFC店舗は11店舗の出店となりました。

その他、当社が進めている商材多様化に対して、業務提携先の株式会社買取王国より継続的にノウハウの提供を受けており、支援を受けている店舗にて成果を得られつつあります。

今後も新規出店を通じて、戦略的な多店舗展開の検討及び小型店舗のバリエーション開発に加えて、業務提携先との契約に基づいた継続的支援を基に、引き続き取扱商材を多様化する取り組みを推進します。

②リユースEC領域

2022年9月にリリースした自社ECサイト「ふるいちオンライン」につきましては、2023年4月より、従来の取り扱い商品であった新品ゲーム、中古ゲーム、中古トレカに加え、新たにコミック全巻セットとホビー関連商品の取り扱いを開始いたしました。これにより、より多くのお客様のニーズにお応えできるECサイトとなりました。2023年10月にweb事前抽選においてお客様の個人情報流出が発生した事案を受け、一層のシステムのセキュリティ対策及びチェック体制の強化改善を行うとともに、「ふるいちオンライン」の単月黒字化の達成を目指し、サイトの操作性の改善及び広告効果を高めるための機能搭載、宅配買取機能の追加実装に向けた検討を進め、収益力向上を図ってまいります。

子会社の株式会社山徳のEC事業は成長を継続しており、グループの業績に大きく寄与しております。山徳は当社のEC戦略上重要な位置を占めており、業務効率化に向けた拠点の再編などの検討を進めております。

③リユースB to B領域

独自のトレカ査定システム「TAYS (ティーズ)」につきまして、2022年2月の外販提供開始以降、順調に拡販を進めており、TAYSで使用しておりますスキャナの製造元である株式会社PFUより、販売額伸長率上位で特別賞を受賞いたしました。2023年9月にはTAYS組織の強化を行い、展示会への出展等を通じた販売促進活動に継続して取り組んでおります。

株式会社アドインテと共同開発した大型デジタルサイネージを搭載した高機能トレカ自販機「A I I C O II (アイコッー)」につきましては、実験機を設置しての検証が完了し、本格的な調達を進めております。本機種は直営店舗以外への設置を基本として、TAYSに続くリユースB to B領域の主要な商材として拡販を進める方針です。

④その他の主要な取組事項

小売店舗での課題である、窃盗(万引き)に対する防犯活動負担の軽減のため、業務提携先の株式会社システム・ケイト、当社店舗を用いた新たな防犯カメラシステムのための実証実験を進めております。2023年3月に実証実験のための防犯カメラを設置して以降、実用に耐えうる段階で直営店舗にも順次導入する予定です。

その他、グループビジョン「リユースで地域と世界をつなぐ」実現に向けた取り組みの一環として、「地方創生」をテーマにしたCSV (C r e a t i n g S h a r e d V a l u e = 共通価値の創造) 活動を推進し、地域の魅力の発信や町への集客を実現するために必要とされる「場」(店舗・マンガ館、仮想空間など)の創造を探求しております。

その一例として、当社は、主力商材であるコンシューマーゲームについて、eスポーツ分野における競技コンテンツとしての見方と、自社が抱えるユーザーコミュニティの親和性を強く認識しており、2023年11月には、岡山市、岡山市教育委員会、岡山県eスポーツ連合が後援する産官共同の取り組みである「OKAYAMA e S P O R T S E X P O」において、脳波測定によりeスポーツを通じた高齢者の認知症予防プログラムの事業化を進めているNOK株式会社と連携し、高齢者向けの脳波測定の体験会をeスポーツイベントの企画コンテンツとして実施いたしました。

また、2023年4月付で公表した「ティーツーグループSDGs宣言」に基づき、2023年8月にコーポレートサイトを更新し、今後の当社グループの環境問題や社会問題に関する様々な課題の解決への取組方針を具体的な取組事例を用いて明示いたしました。

本業であるリユース事業を成長させることを通じた「循環型社会実現への貢献」及び、エンターテインメントコンテンツを通じた地域活性化・地方創生への働きかけによる「地域社会・経済への貢献」をテーマとして、持続可能な社会の実現へ向けて、社会貢献を果たしてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は135億7千8百万円となり、前連結会計年度末と比較して26億3千7百万円増加いたしました。これは主に商品の増加及び有形固定資産の増加によるものです。負債合計は76億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億6千2百万円増加いたしました。これは、長期借入金を減少させた一方で短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金を増加させたことと、買掛金の増加によるものです。純資産は59億7千6百万円となり、前連結会計年度末と比べて3億7千5百万円増加いたしました。これは主に自己株式の取得により株主資本が減少した一方で親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、2023年7月14日に公表いたしました「連結業績予想の上方修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」に記載のとおり上方修正を行っております。配当は、前期実績に対して1円増配し、1株につき年間配当金4円を予定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,479,130	2,630,945
売掛金	723,480	820,161
商品	3,982,697	5,875,848
貯蔵品	16,733	19,093
その他	473,497	645,719
流動資産合計	7,675,540	9,991,767
固定資産		
有形固定資産	866,461	1,137,057
無形固定資産		
のれん	101,460	71,022
その他	522,276	503,266
無形固定資産合計	623,737	574,288
投資その他の資産		
差入保証金	1,086,066	1,120,720
貸倒引当金	△4,000	△4,000
その他	693,021	758,648
投資その他の資産合計	1,775,087	1,875,368
固定資産合計	3,265,285	3,586,715
資産合計	10,940,825	13,578,483
負債の部		
流動負債		
買掛金	663,156	1,377,254
短期借入金	900,000	2,800,000
1年内返済予定の長期借入金	351,180	760,750
未払法人税等	176,469	314,211
賞与引当金	223,269	22,200
役員賞与引当金	26,723	-
ポイント引当金	48,279	53,009
契約負債	147,518	151,851
株主優待引当金	16,181	16,181
資産除去債務	21,500	-
その他	770,319	783,809
流動負債合計	3,344,599	6,279,268
固定負債		
長期借入金	1,038,705	338,670
退職給付に係る負債	310,291	312,892
資産除去債務	538,692	569,951
その他	107,624	101,696
固定負債合計	1,995,313	1,323,209
負債合計	5,339,912	7,602,477

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,620,880	2,668,415
利益剰余金	3,213,970	3,725,280
自己株式	△360,677	△546,377
株主資本合計	5,574,173	5,947,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,015	9,542
退職給付に係る調整累計額	21,724	19,145
その他の包括利益累計額合計	26,739	28,687
純資産合計	5,600,912	5,976,005
負債純資産合計	10,940,825	13,578,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	21,705,144	25,130,874
売上原価	14,044,973	16,340,260
売上総利益	7,660,171	8,790,614
販売費及び一般管理費	6,404,635	7,682,060
営業利益	1,255,535	1,108,553
営業外収益		
受取利息	1,775	1,775
受取配当金	807	683
受取賃貸料	57,732	53,187
持分法による投資利益	28,338	77,762
その他	29,994	26,902
営業外収益合計	118,648	160,311
営業外費用		
支払利息	16,559	14,772
不動産賃貸費用	52,875	47,881
その他	2,325	2,139
営業外費用合計	71,760	64,794
経常利益	1,302,423	1,204,071
特別損失		
固定資産除却損	703	829
その他	348	—
特別損失合計	1,052	829
税金等調整前四半期純利益	1,301,370	1,203,241
法人税等	466,476	493,957
四半期純利益	834,893	709,284
親会社株主に帰属する四半期純利益	834,893	709,284

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	834,893	709,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,028	4,526
退職給付に係る調整額	△5,671	△2,578
その他の包括利益合計	△2,643	1,947
四半期包括利益	832,250	711,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	832,250	711,232
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年4月14日 取締役会	普通株式	68,008	1.0	2022年2月28日	2022年5月12日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、株式給付信託により信託口が保有する当社株式に対する配当金1,697千円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は2022年4月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式3,000,000株の取得を行い、当該株式の取得により自己株式が268,405千円増加しました。

また、2022年6月23日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬(業績条件付)として自己株式840,000株の処分を行い、当該株式の処分によりその他資本剰余金が76,246千円及び自己株式が76,246千円減少しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が2,627,776千円、自己株式が378,955千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年4月14日 取締役会	普通株式	197,974	3.0	2023年2月28日	2023年5月11日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、株式給付信託により信託口が保有する当社株式に対する配当金4,208千円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は2023年6月21日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式250,000株の処分を行い、当該株式の処分によりその他資本剰余金が25,052千円増加し、自己株式が22,447千円減少しました。

また、2023年10月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,646,700株の取得を行い、当該株式の取得により自己株式が226,758千円増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が2,668,415千円、自己株式が546,377千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

当社グループは、マルチパッケージ販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

当社グループは、マルチパッケージ販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
中古品		
本	2,152,410	1,938,238
ゲーム	3,858,613	4,269,645
トレカ	3,898,112	5,263,017
ホビー	532,040	705,723
その他	1,389,471	1,563,513
中古品計	11,830,648	13,740,139
新品		
本	25,338	15,736
ゲーム	5,182,208	5,215,549
トレカ	3,394,541	4,681,727
ホビー	823,807	914,972
その他	187,053	166,062
新品計	9,612,948	10,994,048
その他	173,092	328,939
顧客との契約から生じる収益	21,616,690	25,063,127
その他の収益	88,454	67,746
外部顧客への売上高	21,705,144	25,130,874

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

該当事項はありません。